

補助金チェックシート(既存)

作成年度:令和4年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市猫不妊手術費補助金			補助金番号	D1-2	
所管部署	健康部 保健所 保健衛生課					
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市猫不妊手術費補助金交付要綱					
交付の目的	動物愛護の精神及び動物の適正な飼養の啓発を図るとともに、生活環境の保全に資するため。					
補助対象経費	飼い猫 3,500円 地域猫以外の野良猫 5,000円 地域猫 オス10,000円 メス15,000円					
補助率・補助額	定額補助					
交付先	個人及び団体					
開始年度	平成6 年度	終期年度	年度	サンセット期日	令和7 年度末	
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助		事業費補助	その他	○
法令等での義務付け	なし	法令等名称				

2. 補助金の予算・決算等

(千円)

	H31(R1)	R2	R3	R4
予算額	3,800	3,800	3,800	3,800
決算額	3,712	3,385	3,355	/
特定財源	国庫支出金	0	0	
	府支出金	0	0	
	その他	1,312	1,285	
一般財源	2,400	2,100	2,100	

(件)

交付実績	954	922	915	
------	-----	-----	-----	--

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は「廃止」もしくは「改善」)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	猫を取り巻く環境で生活する者の生活環境の保全が目的であることから、当該補助金は広く市民の利益に貢献するものである。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓	当課所管の動物愛護事業の目的達成のため、適正飼養の啓発及び生活環境の保全の面において当該補助金交付は必要不可欠である。
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	猫の糞尿等による苦情の相談が多いこと、例年申請件数が補助件数の上限に達していることから、高いニーズを把握している。
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	多頭飼育を行っている者や地域猫活動団体など、不適正飼養や苦情の原因となっている猫の飼主から申請を受けており、当該補助金交付による効果の見込みがある。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	苦情に対する主な措置は飼主への飼い方指導であるが、法的な強制力がない。そのため、補助金交付によりむやみな繁殖を抑制することは、適正飼養を啓発し苦情を削減するために適正で効果的な手法である。

公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	要件に該当する複数の個人及び団体を補助金交付対象としている。
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	補助額は地域猫が10,000円又は15,000円、その他の猫は一律3500円としており、全額補助となっていない。
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	大阪府内自治体の補助額が2,000円から10,000円であること、対象経費も同じであることから妥当としている。
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	補助率、補助金額、補助対象経費は市ホームページや広報により公表している。

②補助金性質分類別の視点

[その他]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
○	他の類似制度と重複が無いか確認した。	✓	動物愛護を目的とした他の補助金制度はない。

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改正・改善して継続
上記方向性を 選択した理由	猫による生活環境被害の苦情が多いこと、かつ例年申請件数が補助件数の上限に達していることから当該補助制度のニーズは高く、さらに同様の補助制度が全国に存在すること、及び令和元年6月に動物の愛護及び管理に関する法律が改正され動物の不適切な取扱いへの対応の強化が進められていることから、必要性も高い。また、不適正飼養や苦情の原因となっている猫の飼主が当該補助制度を利用しており、適正飼養の啓発や市民の生活環境の改善に効果が見込まれることから、継続する必要がある。なお、令和5年度から地域猫以外の野良猫については、補助金額を増額する。
対応完了・廃止予定時期	